

## 令和7年度 地域連携推進会議(ホームふきのとう、ホームぱすてる) 会議記録

日時 2026年3月11日(月) 10時~12時  
場所 ホームふきのとう  
参加者 入居者、入居者家族、地域関係者、福祉に知見のある方  
あゆみ福祉会(澤田・中野・山本)

### 1、開会の言葉

### 2、あいさつ

### 3、会議・議題

- ①会議の説明
- ②出席者自己紹介
- ③会議の目的

#### ■グループホーム説明

資料よりあゆみ福祉会ホームの目指すもの、運営状況と各ホームの紹介、障害の種別と区分について、入居者の障害支援区分、グループホームの一日の流れ、グループホームの生活の様子等を説明。実際に入居している利用者にホームの様子を話してもらった。

#### ・グループホームのイベント

バーベキュー、夕涼み会(スイカ割りや流しそうめん、花火)、蒲生の会納涼祭へ参加。誕生日企画(本人の好きな事を聞き取り企画)を行い楽しむ機会を作ることが出来た。社会参加では期日前投票、自治会に入っている地域掃除を行い地域の方との交流を図る事ができた。

#### ・土砂災害について(あゆみホーム・ホームふきのとうで起こったことを説明)

今後に向けてBCB計画の見直しや備蓄(食料、トイレ、避難グッズ、段ボールベッド等)設置を行っていく。

#### ■利用者家族の話

土日は夕方のみキーパーが来る日がある。その時は極力自分でできることはしている。失敗することもあるので、出来ないところはキーパーに助けてもらい生活している。自分の思い通りに行かなくイライラすることもあるが、通院先の先生にも相談しながらグループホームで生活できるようにしている。健康維持のため土日の朝夕に近隣の散歩に出たり、休日には近江鉄道で遠出、年末年始にはバスツアーに参加して余暇の充実を図った。先日

は長浜の盆梅展に行って気分転換した。

(娘が)ホームに入居していて、本人の楽しみを実現する為にヘルプ利用をしている。買い物以外で楽しめる余暇がないか探している。グループホームには毎週楽しみに行っていて帰ってくると満面の笑みで帰られるのは嬉しい事。

#### ■福祉に知見のある方の意見

自分で生活できるためにキーパーにサポートしてもらうことはありがたいことだと思う。グループホームで生活することで生活リズムが整い、安定した生活につながると思う。相談業務で携わっているが、作業所、グループホームの生活が安定してるから入居している方、家族も安心が出来ると感じています。このような機会を作っていただき感謝しています。

#### ■質疑応答

定休日などで日中利用者がホームで1人の時はどうしているのか。

→あらかじめ自分で昼食を準備されるので、ホーム内では一人で過ごしてもらっている(念のため近くを通る際には安否確認している)。職員の付き添いが必要な場合は職員も常設して対応することもある。

他の作業所に通所している人はいるのか。

→1名他法人の事業所に通所されている方がいる。以前はあゆみ作業所に通所していたが、高工賃を目指し移動された方がいる。

送迎はどうしているのか。

→エリアごとの送迎コースを組んでいるので送迎を利用している。自力通所できる入居者は公共交通機関を利用してもらっている。

#### ■地域の関係者の意見

地域との交流があまりなく、災害が起こりそうになって初めて交流が出来た。地域との関わりの中で、ホームの利用者さんとも交流していけたらいいと思う。

ホームがあることは知っていたが(知っている利用者さんがいたが)ホームの中の事は知らなかったなので、今回ホームの様子など色々を知ることが出来て良かった。

#### 4、グループホームの見学

ホームばすてる→ホームふきのとう

#### 5、閉会のあいさつ